

和顔愛語

令和6年3月発行

(わげんあいご)：穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接すること
長崎市魚の町4番1号(長崎市役所新庁舎2階【こどもみらい課内])
電話：825-1949、FAX：821-1938
相談電話(こども・子育てイーカオ相談)：822-3725



令和5年度長崎市少年補導委員協議会冬季研修会
「子どもたちに“愛の一声”を ～ボランティアの報酬とは～」

長崎市少年補導委員協議会冬季研修会を1月26日(金)に市役所2階多目的スペースにて開催しました。今回は、今季限りで定年により退任される市補協の小崎修三会長に講師をお願いし、「子どもたちに“愛の一声”を ～ボランティアの報酬とは～」という演題で、ご講演いただきました。これまで長きにわたって携わってこられた少年補導委員としての活動を振り返るとともに、補導委員としての心構えやボランティア活動の意義などについて、ご自身の実体験を交えながらお話していただきました。



・補導活動で出会う子どもは不良少年(非行少年)ではなく、居場所がない不幸少年
・補導活動とは子どもたちの足りないところ(未熟なところ)を大人が補い導くこと

当日は、少年補導委員はもちろん小崎会長のお膝元でもある小島中学校区の3校(小島小、愛宕小、小島中)からも教職員や保護者が来場し、100名近い参加者が講話に耳を傾けました。

また、研修会に先立ち、先日の能登半島大地震で被災された皆さまに対して、参加者全員で黙とうを捧げ、亡くなられた方々のご



冥福と被災地の一日も早い復興を祈念しました。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

「子どもたちに愛の一声を」を語るにふさわしい大人がまさしく小崎会長だと思いました。40年間の少年補導委員としての活動が手に取るように分かりました。いかに、子どものことを考えた声かけをしたり、自分にできることを積極的に学んだり、子ども・学校・地域とのかかわりに取り組まれていることが十分にわかった研修会でした。

小崎会長の経験談は生きる教材だと思いました。有意義な時間を過ごすことができました。「補導とは、「愛の一声」を信念に、これまで活動をされていることに敬意を表します。子どもたちの見守り役として今後の活動に生かしていけたらと思っています。数多くの事例も、とても参考になりました。長い間大変お疲れ様でした。お世話になり、本当にありがとうございました。

子どもたちへの声のかけ方やかけるときに心がけておくことなど大変ためになりました。できる限り長く少年補導委員を続けていければと思います。

Thank you

「ボランティアの報酬」「自らの成長」「人生、死ぬまで勉強」...。家庭や仕事いろいろな活動において役立つお話でした。ありがとうございました。



毎朝、子どもたちを見守っていただきありがとうございます。私自身も朝から元気をいただいております。長崎で生まれ育ちましたが、町や子どもたちの現状を聞いて驚きました。驚きと同時に補導委員の方々が、子どもたちを見守ってくださったのだと気付かされました。一教員として、目の前の子どもたちから笑顔にできるよう努めたいと思います。ありがとうございました。

小崎会長の長年にわたる経験から貴重なお話を聞かせていただき、大変感銘を受けました。今後地域での活動の参考にさせていただきたいと思います。

いつも大変お世話になっています。今回の講話を聞いて子どもたちが小崎さんに信頼を寄せている理由がよくわかりました。「非行少年ではなく不幸少年」という言葉が心に残りました。その子だけでなく、その子の保護者や環境にまで目を向ける大切さを改めて考えることができました。



# 少年補導委員の定年を迎えるにあたって 市補協会長 小嶋修三

青年団の先輩から「補導委員ばせんね。」と言われたのがきっかけで、長崎市の少年補導委員を引き受けてしまいました。はじめは、先輩補導委員について回るだけでしたが、出会う子どもたちと次第に話ができるようになり、また、さまざまな研修会やイベントなどに参加し、子どもたちの生育環境がその行動に大きく作用していることを学ぶことができました。喫煙したり、飲酒したり、万引きしたり、さらには目に余る男女交際をしたりしている子どもたちと出会う度に「行動を正して高校を卒業しなさい。そうしないと先に進む選択肢が少なくなるよ」との助言をしてきました。「高校を出たらんけん給料も少なか、資格も取れん」と嘆く若者と出会ったこともありました。



今、学校では教職員の働き方改革が進められています。また、共働き家庭が増え、小家族化も進んできています。自治会未加入の家庭が増え、子ども会が消失したという話も聞こえてきており、PTAも弱体化しつつあるように感じます。加えて、就労年齢の高まりによりボランティア活動に取り組む人も減少傾向が続いています。一方で、巡回をしていても子どもたちを見かけなくなり、習いごとや学童保育、家の中でのゲーム漬けといった子どもたちが増えているように思います。このような現状の中で、これからの子どもたちの生育環境がとても気になっているところです。私自身は、今春、定年を迎えますが、これまで少年補導委員としての私を育てくれたボランティア仲間や関係者の皆さまに感謝するとともに、ご恩返しとして、これからも地域の「お節介な一人」として子どもたちに『愛の一声』をかけ続けていこうと思っています。これからも頑張ります。皆さま、本当にありがとうございました。

☆小嶋会長のブログ「長崎市少年補導委員協議会Ⅱ」：<http://shuzousan.livedoor.blog/>  
「長崎のお節介虫Ⅱ」：<http://shuzousan2.blog.jp/>

## ◆定年によりご退任される皆さま(敬称略)◆

石原美代子(東長崎)、酒村健二(片淵)、山口英樹(小島)、酒井通博(小島)、小嶋修三(小島)、飯田義隆(戸町)、山下雅弘(小ヶ倉)、大岩建夫(小ヶ倉)、山口公明(淵)、井手典子(淵)、中山正人(淵)、山道初宣(小江原)、浦川信治(外海)、山下道子(緑が丘)、江頭みどり(岩屋)、沖田すみ子(岩屋)、松山信宏(山里)、小淵奈津美(滑石)、梅野忠彦(夢彩都) 皆さまのこれまでのご功績に感謝申し上げます。

## 【今季限りで少年補導委員をご退任される皆さまへ】

今年度末でご退任される皆さまは、補導委員協議会から支給されている物品について、次のようにお願いします。  
○オレンジ色のベスト、懐中電灯は次に着任される方に引き継いでください。引継相手がわからないなどの場合には、校区の補導委員の方に預けておいてください。→幹事や班長は、退任される方から相談があったら預かってください。  
○赤色の帽子、補導委員手帳は、そのままお持ちいただいても結構です。引継や返却の必要はありません。  
お手数をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いします。

## 【令和6年度当初の市補協関係行事予定】

- 4/11(木) 第1回幹事会
- 20(土) 辞令交付式&表彰式&総会
- 期日未定 いのちを守る長崎市民集会&パレード
- 5/16(木) 新任補導委員講習会
- 5/23(木) 第2回幹事会
- 6月期日未定 地区別幹事会
- 6月~10月 地区別 or 校区別研修会
- 7月期日未定 みなとまつり特別補導
- ※期日等については変更になる場合も…



4月~1月集計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
交通違反	3	7	8	11	29
服装の乱れ	0	0	1	0	1
危険な遊び	5	1	5	4	15
外出時間注意	37	28	45	3	113
買い食い	0	0	13	0	13
ゲームセンター	19	22	52	7	100
男女交際	0	0	72	2	74
『愛の一声』	3151	849	496	62	4558
合計	3215	907	692	89	4903

## 【令和6・7年度長崎市少年補導委員の構成について】

2年の任期をお願いしている長崎市少年補導委員の改選期にあたる令和6年度から、『長崎市少年補導委員の委嘱に関する要領(内規)』の一部改正により、長崎市少年補導委員の構成が次のように変更になりますのでお知らせします。

### ◆高等学校補導委員と大型店舗補導委員が廃止

→補導委員協議会の各種案内や少年センターだよりなどはこれまで同様に学校や店舗に送付していく予定です

【編集後記】5月発行の第1号から今回の第6号まで無事発行することができました。発行するにあたっては「できるだけ多くの情報の掲載」「見やすく、楽しい紙面づくり」などを心がけて編集してきました。

新年度からは組織改編など変化があります。「改善すべきは改善し、変えてはいけない部分はしっかりと継続していく」ことを心がけ、『市補協と少年センターが車の両輪』として、これまで以上に青少年の健全育成に取り組んでいきたいと思っています。(山鹿)